

## 飼料用稲 (主に青刈り・サイレーシ) の栽培法に関する試験

東 政則・田村紘吉・畠山澄雄 (宮崎県畜産試験場)

Masanori HIGASHI, Koukichi TAMURA and Sumio HATAKEYAMA : Cultivation of Forage Rice (mainly for Soiling and Silage)

転換畑特定作物の飼料用稲は県内で 500ha 以上栽培されており、その栽培法 (施肥量・追肥回数・播種時期・刈取時期) を外国稲も含め検討したので報告する。

## 1. 試験方法

すべて、株間30cm条間15cm・1点3本の移植栽培、1区 7.5m<sup>2</sup>2ブロック制である。また、対象とした品種は同時発表の品種選定試験のものと同じである。

1) N増施効果に関する試験 (1980, 1981) 生育期間中のN施用量を第1・2表のとおりとした。

2) 追肥回数に関する試験 (1983) N・K<sub>2</sub>Oは等量で、右表のように施

作型	追肥回数	基肥	中間	穂肥①	穂肥②	計
早	2回	0.5		0.3	0.2	1.0
	1回	0.6		0.4		1.0
普通	3回	0.4	0.2	0.25	0.15	1.0
	1回	0.6		0.4		1.0

3) 播種期に関する試験 (1980~1983) 早期・普通期に分け収量・一般成分を比較した。

4) 刈取時期に関

第1表 N増施による粗玄米収量の変化

試験区分	N量	1.0(kg/a)	1.5(kg/a)	2.0(kg/a)
A (品種数6)n.s		51.8kg/a	50.1kg/a	
B ( " 4)n.s		45.3kg/a		48.5kg/a

注) 1. 1980年普通期、数字は全供試品種の平均値  
2. n.s は分散分析の結果有意差のない事を示す。  
3. 堆肥無施用

第2表 N増施による総乾物収量・倒伏・病虫害の変化

品種数	総乾物収量 (kg/a) n.s.		倒伏  0(無)~5(甚)		病虫害   "		
	N量	1.0(kg/a)	3.0	1.0	3.0	1.0	3.0
6		149.0	170.4	2.0	2.2	1.4	3.7

注) 1. 1981年普通期、数字は試験の平均値  
2. 刈取時期は糊熟期  
3. 堆肥無施用

第5表 播種期別飼料成分 (乾物%)

粗蛋白質			粗灰分		
早期	中期	普通期	早期	中期	普通期
5.6	6.5	6.9	13.2	14.9	16.9

注) 1. 刈取時期は糊熟期  
2. 1982年試験  
3. 品種は水原 258 と R P 9 - 3

第6表 刈取時期別総乾物収量 (kg/a)

早期 n.s.			中期 n.s.			普通期 n.s.		
乳	糊	黄	乳	糊	黄	乳	糊	黄
105.5	115.7	108.7	111.1	119.1	114.1	95.6	108.8	112.1
品種数 6			品種数 4			品種数 4		

注) 1. 1982年試験

する試験 (1982) ホールクロープ利用の刈取熟期 (乳・糊・黄) について収量・一般成分などを比較した。

## 2. 結果および考察

1) N施用量は穀実生産・ホールクロープ利用とも1.0 kg/aがよいとみられ、これ以上与えても増収効果は明らかでなく逆に倒伏・病虫害の多発を招いた (第1・2表)。

2) ホールクロープ利用の場合は、追肥は幼穂形成期に1回で十分と思われる (第3表)。

3) 穀実生産では、維新・水原258は早期で・水原262は普通期で各々多収となる傾向が認められた。ホールクロープ利用では、瑞豊などの品種は早期・普通期ともほぼ同じ収量をあげた。また、播種期別ホールクロープ飼料成分は、普通期になると粗蛋白質含量は高くなるが、粗灰分含量が高くなりエネルギー価の低下が示唆された (第4・5表)。

4) 刈取熟期では、糊熟期ないし黄熟期が総乾物収量・栄養収量とも高い傾向が伺えた (第6・7表)。

第3表 追肥回数と総乾物収量 (kg/a)

品種数	早 期		普通 期	
	追2回	追1回	追3回	追1回
5	110.6	114.0	110.4	110.0
F 値	0.392n. s.		0.007n. s.	

注) 1. 刈取時期は糊熟期  
2. 品種は早期のコシヒカリに換えて普通期ではミズホを供試した。

第4表 播種期別粗玄米収量・総乾物収量 (kg/a)

品 種	粗 玄 米 収 量		総 乾 物 収 量	
	早 期 (1981)	普通期 (1980)	早 期 (1983)	普通期 (1983)
R P 9 - 3	56.8	56.5	109.2	108.1
密 陽 23 号	55.8	59.4		
維 新	58.6	33.9		
水原 2 5 8	61.0	46.1	98.7	104.1
水原 2 6 2	45.3	65.8		
瑞 豊			128.6	128.8
アケノホシ			112.7	107.5
平 均	55.5	52.3	112.3	112.1

注) 総乾物収量は糊熟期刈りの値

第7表 刈取時期別栄養収量 (kg/a)

乳 熟	糊 熟	黄 熟
59.0	70.8	71.1

注) 1. 1982年早期  
2. 品種: コシヒカリ, 瑞豊  
3. 乾物収量×乾物消化率